

# 一般質問(要旨)

## ●質問者

3月5日(木)

館 静馬 議員  
(いばらき自民党)

設楽 詠美子 議員  
(民 主 党)

鈴木 将 議員  
(いばらき自民党)

3月6日(金)

田村 けい子 議員  
(公 明 党)

石塚 仁太郎 議員  
(いばらき自民党)

鈴木 定幸 議員  
(いばらき自民党)

3月9日(月)

神達 岳志 議員  
(いばらき自民党)

山中 たい子 議員  
(日本共産党)

下路 健次郎 議員  
(いばらき自民党)

3月10日(火)

萩原 勇 議員  
(いばらき自民党)

飯田 智男 議員  
(自民県政クラブ)

福地 源一郎 議員  
(いばらき自民党)



議員 静馬 俊次  
民主党 出選  
いばらき市選出  
水戸市選出  
分割方式

### 新偕楽園駅の建設と常設化

議員 多くの課題があるものの、県都水戸や県全体の活性化のためには新たな常設の偕楽園駅を整備することが必要と考えるが、県は今後どのように取り組むのか。  
知事 新駅については、年間を通して一定の利用が見込めることが重要な要素である。新駅の設置は、駅周辺の観光振興などに貢献する一方、さまざまな課題があり、その検証はこれからスタートする。今後水戸市における検討状況なども踏まえ対応していきたい。

### 弘道館のビクターセンター建設

議員 弘道館などは、現在日本遺産の認定を受けるべく文化庁に申請中である。審査結果は未知数だが、ビクターセンターを開設し、おもてなしの窓口を創設すべきと考えるが、今後の取り組みは。  
土木部長 弘道館などが日本遺産に認定された場合、今まで以上におもてなしの充実強化が必要であり、どう取り組むのかビクターセンターも含め、市や県の関係部署などととも議論していきたい。  
(ほかに、障がい者就労支援、通学用ヘルメット着用なども質問)



日本遺産に申請中の弘道館



議員 詠美子 民 主 党 出選  
西 市 選出  
分割方式

### 筑西・桜川両市における新中核病院の建設

議員 新中核病院と桜川市立病院の整備に、県はどのような役割を担い、地域医療の再生を図るのか。  
知事 適切な病院整備構想が立てられるよう病院整備のノウハウの提供や助言を行うほか、国と連携し、地域医療再生基金などの財政制度が円滑に活用できるように支援する。また、県も委員として建設推進協議会に参画し、助言などを行うとともに、医師・看護師確保などにも最大限の支援を行い、地域医療体制の充実に努める。

### 保育園・放課後児童クラブの支援の充実

議員 保育園の待機児童の解消、放課後児童クラブの充実など、子ども・子育て支援新制度に向けた今後の具体的な取り組みは。  
保健福祉部長 地域型保育事業の実施など多様な保育サービスの提供を通じ、待機児童の解消を図る。放課後児童クラブについては、規模が大きくなクラブの分割や学校の余裕教室の活用働きかけ、施設整備補助金の確保などにより、市町村を支援していく。  
(ほかに、女性支援、農業の六次産業化に向けた支援なども質問)



放課後児童クラブの様子



議員 けい子 民 主 党 出選  
明 市 選出  
一括方式

### 生物多様性センターの設置

議員 茨城の生物多様性戦略の拠点組織となる生物多様性センターを県庁内に開設することだが、全国三例目となるセンターの設置の方針や今後の方向性をどのように考えているのか。  
知事 生物多様性センターでは、生物多様性に関する情報の収集・発信などを行うとともに、行政のみでは対応困難な課題に対応するため、センターを中心として様々な主体と連携しながら生物多様性の保全に取り組んでいく。



生物多様性センターの設置を提言する茨城の生物多様性戦略

### 障がい者の就労支援と障害者優先調達の促進

議員 障がい者が地域で自立した生活ができるよう就労支援を行うとともに、工賃向上のため共同受発注センターを活用することなどにより、障害者優先調達の促進を図るべきと考えるがどうか。  
保健福祉部長 一般就労の支援のため障害者就業・生活支援センターの生活支援員を増員するとともに、優先調達の促進のため共同受発注センターに活動強化員を配置するなど取り組んでいく。  
(ほかに、公共施設管理計画、人口減少化への対応策なども質問)

### 「世界のつくば」を活かした外国人観光客の誘客

議員 外国人観光客の受け入れ態勢を充実させ、世界的に知名度の高い「つくば」への観光客の誘客を促進し、本県観光の振興を図るべきと考えるが今後の取り組みは。  
商工労働部長 産業観光やサイクリングなどの新たなツアーの造成や受け入れ態勢の整備を進め、茨城空港の利用促進と併せて、「世界のつくば」の魅力を活かし、積極的に取り組んでいく。  
(ほかに、インシシ被害防止対策、県道筑西つくば線バイパスの整備なども質問)



開局3年目を迎えるインターネットテレビ「いはらきTV」

### 第十回福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催されました

二月五日から六日にかけて、栃木県宇都宮市において、第十回福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催され、細谷幸議長と山岡恒夫副議長が出席しました。会議では、「地方創生と人口減少対策について」をテーマに協議が行われ、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長から、まち・ひと・しごと創生について講演が行われた後、各県が取組状況について説明しました。意見交換では、各議長から、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長に対し、国の地方創生に関する考え方や地方版総合戦略の位置付け、さらに新たな交付金制度などについて、活発な質疑が行われました。  
また会議において、二十七年年度茨城県で当議長会を開催することについて了承されたことを受け、細谷議長が二十六年年度の幹事県である栃木県議会への謝辞と、二十七年年度開催への抱負を述べました。



抱負を述べる細谷幸議長(右側は山岡恒夫副議長)